

【事業実績】 ジオパークネットワークを活用した展示と地域を結ぶ博物館機能強化事業

1. 日本の大地の成り立ちをテーマとしたストーリーブックの作成

(1) 地球・日本・地域の成り立ちに関する資試料の収集

日本の大地の成り立ちをテーマとしたストーリーブックを作成するため、全国のジオパークがもつ大地と自然と人の暮らしの繋がりをまとめたストーリーカードを作成した。ストーリーカードには、地域を代表する岩石標本の写真と簡単な説明の他、関連した地質現象・風景・文化・食などとの関りを記入した。21 地域のジオパーク専門員が、それぞれ3～5枚ずつとストーリーカードを作成し、計 100 枚のストーリーカードを収集することができた。



ストーリーカードの例

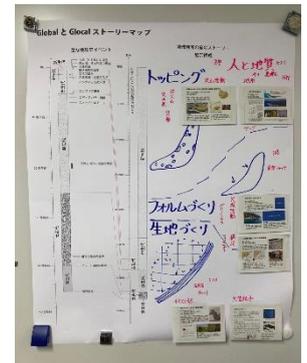
(2) ストーリーブック検討会議の開催(第1回研修会) 現地参加 10 人、オンライン参加 19 人

令和5年8月 22 日に、ストーリーブック検討会議を開催した。収集したストーリーカードを並べながら、グループごとに日本の大地の成り立ちを模造紙にまとめ発表した。ポイントとして、どんな章立てで日本の成り立ちを語るか(デザイン)、そのストーリーを誰(標本やサイトなど)に語ってもらうか、そのストーリーをどのように語ってもらうか(演出)を設定した。



カードを並べている様子

<参加者の感想> 日本列島の成り立ちを1枚の模造紙で表現するのは難しかったが、大きく3つの物語(大陸時代・日本海拡大時代・現在の地形発達時代)に分けて、それぞれを料理の行程(生地作り→整形→トッピング)で表現するアイデアは面白かった。また、普通は時代を過去から現在にたどるが、現在から過去に巻き戻していくアイデアも斬新だった。遠く離れた地域どうしても共通するストーリーが発見でき勉強になった。



作成した模造紙の例

2. 標本と地域をリンクさせたデジタルアーカイブの作成

(1) デジタルアーカイブ基礎研修会の開催(第1回研修会) 現地参加 10 人、オンライン参加 22 人

ストーリーブック検討会議と同日(令和5年8月 22 日)に、デジタルアーカイブ基礎研修会を開催した。地質標本館の森田館長からは、館内・収蔵庫を案内していただき、岩石標本のデジタルアーカイブの整備状況と課題について事例紹介していただいた。三笠ジオパーク推進協議会の下村事務局長からは、無形文化のアーカイブ化について事例紹介していただいた。



館内見学の様子

<参加者の感想> デジタルアーカイブが標本の二次利用の促進にうまく繋がっていない現状、アーカイビング人材の育成の必要性がよく分かりました。図書館方式で、全国の資試料を検索できるシステムの整備していくためには、ネットワーク活動に特徴のあるジオパークも貢献できると思いました。無形文化にあたる風習や信仰は、面的(地域間)で結び付けられるとさらに魅力が増すと思いました。



事例紹介の様子

(2) デジタルアーカイブの構築・発信

研修会を参考に、下記の巡回展で採用した代表的なストーリーカードのデジタルアーカイブを構築した。

<https://earthtime-journey.geopark.jp/>

3. 巡回展示「地球時間の旅」の作成

- (1) **ストーリーデザインに関する研修会の開催(第2回研修会)** 現地参加 24 人
令和5年12月13日に、ストーリーデザイン研修会を開催した。上記のストーリーカードやストーリーブックを参考に、テーマ(展示構成)ごとにグループを作り、実際に解説パネルの内容を議論した。研修会の最後には、ワールドカフェ方式で各グループの内容を確認し、工夫できる点などをフィードバックした。

<参加者の感想> 他のジオパークの方と解説パネルを作るのは初めてでとても面白かったです。パネルに書ける文字数が限られている中で、時にはなじみのない地域のストーリーも織り交ぜながら、伝えるべき情報を洗練させていくプロセスは、グローバルな視点を育む貴重な体験になりました。フィードバック作業では、全体の展示構成との繋がりを意識した工夫やアイデアを得ることができました。



グループワークの様子



フィードバックの様子

- (2) **意識変容を促す展示表現に関する研修会の開催(第3回研修会)** 現地参加 33 人、オンライン参加 52 人
令和6年1月15-16日、気候変動をテーマに意識変容を促す展示表現に関する研修会を開催した。研修会はインプットとアウトプットの2部構成で実施した。インプットでは、地質年代から現在までの気候変動に関する講演、会場となった鹿児島県桜島の噴火リスクに向き合う取組例を紹介していただいた。アウトプットでは、参加者それぞれの地域でみられる気候変動を題材に、住民の意識変容を促す展示表現について意見交換した。

<参加者の感想> 気候変動は全地球的な問題なので、1人1人の自分事にするのが難しい。そのため、いかに身近な問題に還元できるかが重要だと思いました。意識変容から行動変容へと繋げるためには、1人1人の行動が与える影響(正も負も)を科学的にしっかりと伝えていく表現方法を考えていく必要があると感じました。



事例紹介の様子



桜島現地見学の様子

- (3) **モニター展覧会の開催** 現地参加 40 人
令和6年2月9日に、巡回展示のモニター展覧会を開催した。展示内容でブラッシュアップできる点や、地域ごとに付け足すストーリーについて意見交換した。

<参加者の感想> 実際の展示物を見ることで自分の地域で開催する際に試したいアイデアを得ることができました。



展示内容を確認する様子

<報道記録>

上越タイムス社 <https://j-times.jp/archives/51473>

信濃毎日新聞社 <https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2024021400527>



意見交換の様子